

第28回防衛問題セミナー

テーマ：新たな防衛計画の大綱と北海道の陸上自衛隊

北海道防衛局は、平成26年7月13日（日）に帯広市の後援を得て、とかちプラザにおいて、防衛問題セミナーを開催しました。

今回の防衛問題セミナーは、「新たな防衛計画の大綱と北海道の陸上自衛隊」をテーマに、「新たな防衛計画と防衛力整備について」及び「陸上自衛隊第5旅団の活動状況について」と題して、開催したものです。

冒頭、主催者である北海道防衛局長島川正樹の挨拶に続き、後援者である帯広市の米沢則寿市長から後援挨拶が行われました。

講演は、防衛省防衛政策局防衛計画課中嶋浩一郎課長から平成25年12月17日に閣議決定された「平成26年度以降に係る防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」の概要、統合運用の観点から、より実効的な統合機動防衛力を構築するために重視すべき機能・能力の整備、北海道における体制整備の方向性など説明していただき、続いて、陸上自衛隊5旅団長深津孔陸将補から「陸上自衛隊第5旅団の活動状況について」と題して、陸上自衛隊第5旅団の任務、編成、即応態勢等、教育訓練の実施状況、災害派遣における活動状況、国際貢献における活動状況について、広報VTRの映像とともに説明していただきました。

講演の後、「今般の大綱において、補給はどのような計画となっているのか。」という質問があり、中嶋課長から、「戦闘を継続的に行うための継戦（けいせん）能力については、様々な計画の中で計算に入れており、自衛隊だけでもどこまでやれるのかシュミレーションを行っている。」と答えるなどの質疑応答がなされました。

会場には、地元帯広市のほか近隣市町村から約80名の方々が来場され、「防衛大綱の概要がより具体的に理解できた。」、「自衛隊は頑張っているが、国民の理解と協力・支援が絶対条件であると感じています。」などの声が寄せられました。

当局では、防衛問題セミナーを通じて、防衛政策や自衛隊の活動内容について、多くの皆様に御理解を深めていただければと考えています。

主催者・後援者挨拶



北海道防衛局 島川 正樹 局長



帯広市 米沢 則寿 市長

セミナー会場の様子



講演者



防衛省防衛政策局防衛計画課 中嶋 浩一郎 課長



陸上自衛隊第5旅団長 深津 孔 陸将補